

中酪情報 No.542

2012年11月30日発行
毎号奇数月末発行

発行：社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：内橋政敏

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

TEL:03-3219-2611(代) FAX:03-3219-2622

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F

社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL:03-3219-2611(代) FAX:03-3219-2622

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編集後記

「北海道でも酪農家の減少に歯止めがかからず生産基盤の弱体化が危惧されているという話題をよく耳にするようになってきました。これまでは、離農された方の牧場を近隣の酪農家が引き継ぎ、規模拡大でカバーしてきましたが、だんだんカバーしきれなくなっているのかもしれない。……最近では酪農の法人などからの求人も来るようになりましたが、まだまだ就業条件等が他の求人と比べて整備されていないことなどから学生の反応は今ひとつです。“単純な労働力”としての求人ではなく、“将来の構成員”につながるような仕組みがあれば魅力が大きなものとなります」とは、本号リレーコラムの執筆者である北海道立農業大学の加藤校長からの提案です。

一方、生乳生産基盤の維持、あるいは国産乳資源の確保の必要性から、酪農の担い手を育成することは酪農乳業共通の課題であると言われていています。この課題を克服するためには、学生側の「雇われ続けるか、経営主になることを目指すか」という意識の明確化と、求人側の「後継者も雇用者から選ぶ時代」という意識の変革が必要だと思えます。